

## 【神栖市立B小学校図書館へのご提案】

『貸出数が増える図書館づくり』… 華やかな掲示物は児童の目を引きませんが、準備や時間がかかり、労力に応じて更新も遅れます。頑張りすぎず、気軽さや続けやすさを重視しましょう。力作以外にも簡単に更新できる小さな見せどころをいくつか作っておき、ローテーションで更新して常にどこか一ヶ所を新鮮にしておくのが続けやすいかも。

また貸出方法を見直してみるのも良いかもしれません。



取り組みやすさ度 … ☆ (易)・☆☆ (普)・☆☆☆ (難)

★図書委員とともに活動

### 1. 年間を通しての集客方法 ( 読書週間などのイベント時ではなく )

<b>ビブリオマンシー ( * 2 p.78~79 参照 ) ☆</b>	
書物占いのこと。カウンター付近に置いておくと、楽しみに来てくれるようになるかも。会話の糸口になり、よいコミュニケーションツールに。いくつかシリーズで出されているものもあるので、揃えてみても面白い。	
<b>おもしろい本おすすめクジ ( * 3 p.33 参照 ) ☆</b>	
こちらもカウンター周りのお楽しみ。駄菓子のポットや空き瓶を利用。図書委員におすすめの本の紹介文を作ってもらい、くじのように引く。あるいは、なかなか読まないような堅めの本 (教科書の『この本読もう』などからのピックアップ) でも、占い感覚なら選択を楽しめる (この場合は、学年毎にクジを作成)。定期的に更新を。	
<b>おはなしバイキング ( * 1 p.86 参照 ) ☆☆☆</b>	
業間休みもしくは昼休みに、いろいろな場所でいろいろな教員が読み聞かせをする。誰が読んで	

くれるかは当日のお楽しみにしておいて、児童には場所や本のお知らせだけをしておく（図書日よりなどで）。児童は当日、自分の興味のある本の場所に行く。

あるいは、教員の協力を得られるならば、朝読書の時間に校長先生はじめ全教員がおすすめの本をもっていろいろな学級へ読み聞かせに行くのも、先生方の素顔が見られて喜ばれる。

読書郵便①・②（\* 1 p.77～79, p.121 参照）☆☆☆

★

自分の好きな本や読んで面白かった本を、校内のお友達に紹介する。各学級にはがきを配布し、図書館と各階に1個ずつポストを設置する。切手や消印のデザインを図書委員に作成させると盛り上がる。おすすめの本をはがきを書いて、友だちや先生に出す。回収や配達は図書委員の役目。よくできたはがきはコピーをして、図書館内に掲示する。

〈参考図書〉 ※すべて少年写真新聞社より刊行

- \* 1. 学校図書館が動かす読書イベント実践事例集／牛尾直枝・高桑弥須子編著
- \* 2. 学校図書館のアイデア&テクニック／秋田倫子
- \* 3. 発信する学校図書館ディスプレイ／吉岡裕子・遊佐幸枝監修

他、掲示物作成のヒントに…

- \* 4. 学校図書館を彩る切り絵かざり（型紙つき）／CHIKU 著



## 2. 貸出方法の見直し

◎学習用貸出の資料をクラス貸出から個人貸出にする。

◎個人貸出の冊数を増やす。

特別貸出期間を設けていれば期間中の増冊をされているかと思いますが、通年の貸出冊数を増やしたいのであれば現状の2冊から3冊へ増やしてみるのはいかがでしょうか。貸出期間と冊数を司書教諭と相談してみてください。

◎休業前の貸出をおこなう。

春季は年度末や進級処理業務があるため大変と思われるかもしれませんが、夏季・冬季休業前は司書教諭と相談してみても思い切って貸出をおこなってみてはどうでしょうか。

